

今すぐ役立つ！井戸端会議ネタ その⑥

お隣さんが外猫ちゃんたちにエサをあげてるの。



庭にフンをするのに困ってるのね？



そうなの。私も猫は好きなんですけど…



今、猫も人間も、皆が幸せになれるように、こんな活動が始まってるよ

飼い主のいない猫問題を解決しよう！「地域猫」活動



町の猫たちを嫌われものにしたくない！

飼い主のいない猫に「おなかを空かせてかわいいそうだから」と無責任にエサを与え続けていませんか。それは猫をかわいがっているつもりでも、長期的に見ると、「かわいそうな猫、を増やす一因になることがあります。」



現状は…

福岡市内では1年間に約7000匹の猫の死体が路上で回収されています。野外で暮らす猫は、命をおびやかす危険といつも隣り合わせ。たくさん生まれると、そうやって死んでいく不幸な猫たちも多くなるということです。

- そんなかわいそうな猫を減らしたい
- 猫に関する困りごと（庭に糞尿をするなど）をなくしたい

そこで！「地域猫」活動が始まっています！

「地域猫」活動とは？

横浜市で始まった、「飼い主のいない猫、ど」人間、の共生活動。地域住民の理解を得たうえで、ボランティアなどが一定のルールに従って猫を一代限りで飼育管理するというものです。将来的に飼い主のいない猫をなくしていくことで地域の猫問題を解決することを目的としています。

《具体的な活動内容は？》

不妊去勢手術

不幸な子猫をこれ以上増やさないよう不妊去勢手術をします。捕獲器などを使ってのら猫を捕獲し、動物病院などで手術したら、元の場所に放します。

トイレの管理

プランターなどに土を入れて、猫のトイレを作ります。においづけのフンやまたたびを混ぜて誘導するのがポイントです。トイレは毎日こまめに清掃します。

ルールを守ったエサやり

猫にエサをあげる場所と時間を決め、猫が食べ終わったらすぐに片付けます（置きエサや投げエサは禁止!）。

みんなで協力しながら飼育します！



「地域猫」活動をはじめよう！

福岡市でも「地域猫」活動支援事業が平成21年10月からスタート。専門的な問題への助言や資料提供、講習会への講師派遣、不妊去勢手術への支援を行っています。

「地域猫」活動を進めるには…

まず、地域の理解

→「地域猫」活動を進めるためには地域の理解が不可欠。地域の自治会長などに相談し、回覧板や掲示板を活用したり説明会を開催するなどして地域住民の理解と協力を得ます。

そして、役割分担

→日常的な活動はエサやトイレの管理、捕獲・運搬などで（役割分担できるよう協力者を募ることも必要）。

準備が整ったら、活動開始！

→回覧板などで活動開始を地域に知らせます。

私はエサとトイレ担当

捕獲と運搬担当



福岡市の支援内容や「地域猫」活動に関する具体的な相談は、家庭動物啓発センター（☎092・891・1231）へ。

猫が好きな人も嫌いな人も、お互いを思いやる気持ちを持ちましょう。

合言葉は…「気持ちよく暮らせるようにはどうしたらいいかをもう一度考えてみよう！」